

2011/4/11

## 柏の景気情報（平成23年3月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課  
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18  
TEL : 04-7162-3305  
FAX : 04-7162-3323  
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>  
E-mail : [info@kashiwa-cci.or.jp](mailto:info@kashiwa-cci.or.jp)

## 柏の景気情報（平成23年3月分）

○ 調査期間 : 平成23年3月22日 ~ 3月25日

○ 調査対象 : 柏市内107事業所及び組合にヒアリング

### ＜産業別回収状況＞

| 調査産業 | 調査対象数 | 回答数 | 回収率   |
|------|-------|-----|-------|
| 全産業  | 107   | 63  | 58.9% |
| 建設   | 19    | 14  | 73.7% |
| 製造   | 23    | 12  | 52.2% |
| 卸・小売 | 43    | 29  | 67.4% |
| サービス | 22    | 8   | 36.4% |

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

### 質問A

| 質問事項              | 回答欄                |         |         |                             |         |         |
|-------------------|--------------------|---------|---------|-----------------------------|---------|---------|
|                   | 前年同月と比較した<br>今月の水準 |         |         | 今月の水準と比較した向<br>こう3ヶ月の先行き見通し |         |         |
| a.売上高<br>(出荷高)    | 1<br>増加            | 2<br>不変 | 3<br>減少 | 1<br>増加                     | 2<br>不変 | 3<br>減少 |
| b.採算<br>(経常利益ベース) | 1<br>好転            | 2<br>不変 | 3<br>悪化 | 1<br>好転                     | 2<br>不変 | 3<br>悪化 |
| c.仕入単価            | 1<br>下落            | 2<br>不変 | 3<br>上昇 | 1<br>下落                     | 2<br>不変 | 3<br>上昇 |
| d.従業員             | 1<br>不足            | 2<br>適正 | 3<br>過剰 | 1<br>不足                     | 2<br>適正 | 3<br>過剰 |
| e.業況              | 1<br>好転            | 2<br>不変 | 3<br>悪化 | 1<br>好転                     | 2<br>不変 | 3<br>悪化 |
| f.資金繰り            | 1<br>好転            | 2<br>不変 | 3<br>悪化 | 1<br>好転                     | 2<br>不変 | 3<br>悪化 |

### 質問B 業界内のトピック(記述式)

$$DI値 = 1 \text{ 増加他の回答割合} - 3 \text{ 減少他の回答割合}$$

#### ※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

#### ※ DI値と景気の概況

|         |              |             |              |          |
|---------|--------------|-------------|--------------|----------|
| DI ≥ 50 | 50 > DI ≥ 25 | 25 > DI ≥ 0 | 0 > DI ≥ ▲25 | ▲25 > DI |
| 特に好調    | 好調           | まあまあ        | 不振           | 極めて不振    |

【平成23年3月の調査結果のポイント】

≪業況DIは大幅に悪化 東日本大震災の影響大きく≫

○3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲49.2(前月水準▲36.7)となり、マイナス幅が▲12.5ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲42.8(同▲20.0)、サービス業▲50.0(同▲38.4)、卸小売業▲58.6(同▲50.0)、製造業▲33.3(同▲28.5)である。特に、建設業はマイナス幅が▲22.8ポイントと大幅に拡大した。

【建設業】からは、「震災以降修復工事が急増していますが、復旧のめどは立たず今後の見通しは不安です」(一般土木建築工事業)、「材料生産業界が縮小動向の中、地震が起きたため補修の需要は一時的に増加するものの、新規はさらに減少するのではないか」と予想され、先行きはますます厳しくなると思われる」(石工・れんが・タイル・ブロック工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「東日本大震災、計画停電、原発事故などで資材不足、エネルギー不足、消費マインドの低下などにより、今後不透明な状態が続く見込み」(酒類製造業)、「東日本大震災により、復興の作業量が大幅に増加するため、今後の作業量が売上にどう影響するのか」(一般産業用機械設備製造業)、「東日本大震災により、多くの取引先が被害を受けた関係で、今後大幅な受注減の可能性があり、さらに業況が悪化する恐れがある」(電子応用装置製造業)などのコメントがあった。

【卸小売業】からは、「地震の影響が大きく、食料品中心に買いためがあり売上は増加。しかし衣料品の購買意欲が半減している。水道水の問題も発生しミネラルウォーターの買いためになるのではないかと。計画停電もいつまで続くのかを考えると商売に大きく影響してくる」(その他の各種商品小売業)、「3月初旬は前年並の取り扱いをしていたが地震の発生、福島原発事故により指定品目青果物の出荷制限自粛となり入荷減少。併せてそれ以外の品目でも風評被害の影響で出荷控え入荷減少し、価格も安値取引となっています。一日も早く収束をし、安心安全な野菜の提供をするため対策をしていきたい」(食料・飲料卸売業)、「計画停電の影響で献立の変更や調理に支障がある。電車の不通で社員が欠勤となったり、食材確保も困難。夕方の客足も鈍い」(その他の飲食料品小売業)、「未曾有の大災害のため、経済活動がストップしたまま。供給需要がストップして商売にならない」(塗料卸売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「計画停電により営業時間が変則となり来客者数が減り売上減少。福島県からの被災者多数来客あり」(公衆浴場業)、「震災後おちついて仕事ができない。今後の災害復旧がどこまでできるのか心配です。何も出来ない事に不甲斐なさも感じています」(獣医業)などの声も寄せられた。

◎計画停電

各業種から、「ホストコンピュータ制御をおこなっている関係上計画停電の影響が大きく、変則勤務体系で対応した」(その他の機械・同部分品製造業)、「今回の震災で物流が完全にマヒし、商品が入荷しなかったり出荷ができなかったり、売上にもかなり影響がでております。さらに加えて計画停電により営業出来なくなったことなど、売上減少の要因がかなりありました」(食料・飲料卸売業)、「計画停電により本店サーバを落とすため、全国の事業所の業務を止める事になってしまう。その間業務がストップし全て残業となる為に、労務費が異常に上がってしまう。その逆に市場が冷え込むと予想されるが今年度は厳しい年になる」(他に分類されない卸売業)、「地震後計画停電等の影響により、営業時間を短縮しており、そのため売上高は大幅に減少。義援金募金の呼び掛けに多くのお客様のご協力を得ている」(百貨店)、「震災および計画停電のため、営業休止となり購買意欲の低下とともに売り上げの低下はどこまで続くか」(書籍・文房具小売業)、「震災の発生、計画停電の実施により、正常な営業ができないうえに、消費者の先行き不安がつり、壊滅的な打撃を受けている」(その他の各種商品小売業)「東日本大震災が発生し、臨時休業などを余儀なくされ、売上高は大きく落ち込んだ。震災後お客様の生活の利便性と電力エネルギー節減に配慮し、全館18時閉店としたものの、計画停電の影響を受け営業時間は変則的なものとなり、売上高は大きく減少した。今後も厳しい状況が続くと想定される」(各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

◎材料不足

各業種から、「東日本大震災による屋根瓦等の被害が多く、応急処置工事が大変でした。また、その後修理には、材料・瓦の不足で思うように進まない」(一般土木建築工事業)、「東日本大震災での材料が品薄となり、仕入単価上昇すること。材料が手に入らず新築住宅の工事が進まず、それに付随する業種としては先が何も見えず4月以降の現場がどう動くのか心配です」(管工事業)、「災害救援のため材料が不足。生産も間に合わず現場がストップしている。被災地優先となる今後の材料入手が心配」(電気工事業)、「計画停電の影響により、生産稼働率の減少、加えて原材料の入荷量不足が発生している」(特殊産業用機械製造業)、「宴会では地震による開催の自粛により、主催者より取消が相次ぎ大きな損失となる。今後は食材の品薄や価格のアップなどが予測され更に運営が厳しくなりそうである」(ホテル)などの声が上がってきた。

◎先行き不透明

各業種から、「地震の影響がどのくらいあるかまだ先が見えない状況です」(一般土木建築工事業)、「東日本大震災で得意先である製紙会社も被災。製紙業界全体としては需要をカバーするだけの生産力は充分にあると思われるが、原燃料事情、計画停電等で生産への影響が懸念される。当社としては震災前と比べ機械及び製造された製品に不具合が無いのか検証しながらの操業であり、計画停電による生産性ダウンもあり、先行きは不透明な状況である」(織物業)、「震災で灯油とガソリンの仕入れができず入手方法等詮索、計画配送をこころがけたりと大変苦労をした。信頼されている消費者に迷惑はかけられずオイルショックを思い出した。仕入をして溜めておくことも出来ず地下タンクの増設は莫大な費用がかかる。業界としては上半期は先が見えない」(燃料小売業)、「震災後の計画停電やガソリン不足等で駅前も人がまばらです。お客様の動きは生活必需品に向かっているようで、未だに休業状態の大型店と一緒に当ビルも節電で早じまいのため先行きは難しくそうです」(時計・眼鏡・光学機械小売業)などの声も寄せられた。

|     | 全産業   | 建設    | 製造    | 卸・小売  | サービス  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 10月 | ▲40.7 | ▲40.0 | ±0.0  | ▲56.6 | ▲53.3 |
| 11月 | ▲32.8 | ▲50.0 | △12.5 | ▲51.7 | ▲28.5 |
| 12月 | ▲39.7 | ▲28.5 | ▲14.2 | ▲53.8 | ▲50.0 |
| 1月  | ▲28.7 | ▲12.5 | ▲30.7 | ▲38.4 | ▲27.2 |
| 2月  | ▲36.7 | ▲20.0 | ▲28.5 | ▲50.0 | ▲38.4 |
| 3月  | ▲49.2 | ▲42.8 | ▲33.3 | ▲58.6 | ▲50.0 |
| 見通し | ▲50.7 | ▲35.7 | ▲58.3 | ▲55.1 | ▲50.0 |

【平成23年3月の業況についての状況】

○ 3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲49. 2(前月水準▲36. 7)となり、マイナス幅が▲12. 5ポイント拡大した。

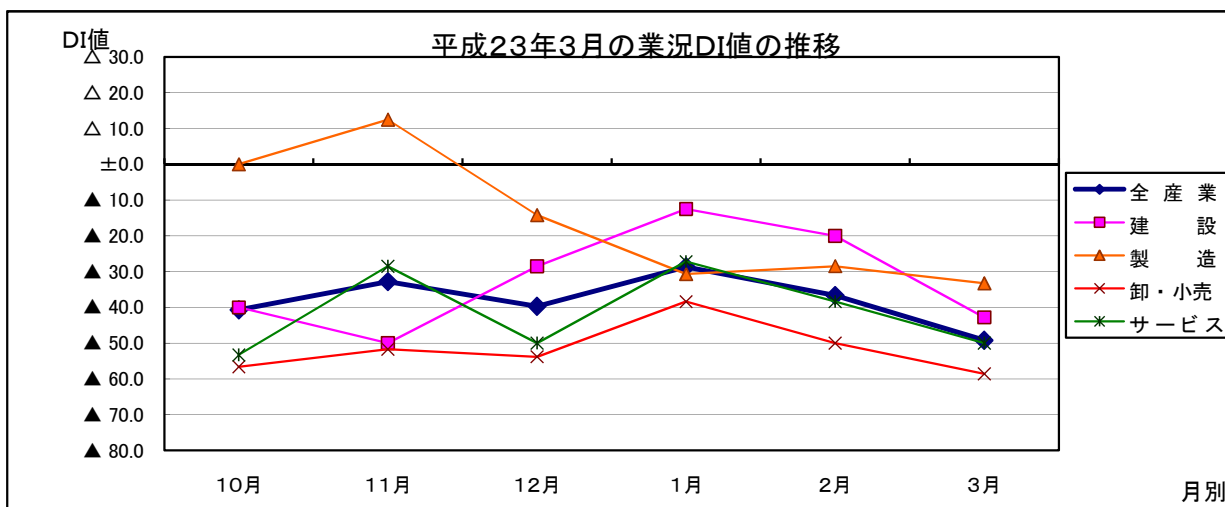
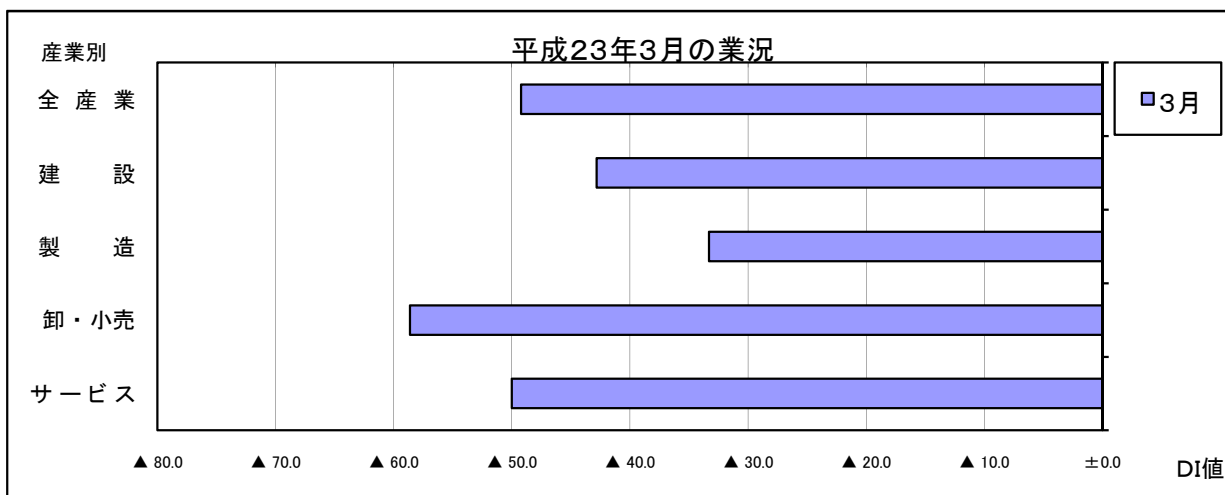
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲42. 8(同▲20. 0)、サービス業▲50. 0(同▲38. 4)、卸小売業▲58. 6(同▲50. 0)、製造業▲33. 3(同▲28. 5)である。特に、建設業はマイナス幅が▲22. 8ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲50. 7(前月水準▲22. 0)となり、マイナス幅が▲28. 7ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲58. 3(同▲7. 1)、サービス業▲50. 0(同▲15. 3)、卸小売業▲55. 1(同▲30. 7)、建設業▲35. 7(同▲26. 6)である。特に、製造業はマイナス幅が▲51. 2ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成23年3月業況DI値(前年同月比)の推移

|      | 10月   | 11月   | 12月   | 平成23年<br>1月 | 2月    | 3月    | 先行き見通し<br>4月~6月(3月~5月) |
|------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|------------------------|
| 全産業  | ▲40.7 | ▲32.8 | ▲39.7 | ▲28.7       | ▲36.7 | ▲49.2 | ▲50.7(▲22.0)           |
| 建設   | ▲40.0 | ▲50.0 | ▲28.5 | ▲12.5       | ▲20.0 | ▲42.8 | ▲35.7(▲26.6)           |
| 製造   | ±0.0  | △12.5 | ▲14.2 | ▲30.7       | ▲28.5 | ▲33.3 | ▲58.3(▲7.1)            |
| 卸・小売 | ▲56.6 | ▲51.7 | ▲53.8 | ▲38.4       | ▲50.0 | ▲58.6 | ▲55.1(▲30.7)           |
| サービス | ▲53.3 | ▲28.5 | ▲50.0 | ▲27.2       | ▲38.4 | ▲50.0 | ▲50.0(▲15.3)           |



【平成23年3月の売上についての状況】

○ 3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲42.8(前月水準▲13.2)となり、マイナス幅が▲29.6ポイント拡大した。

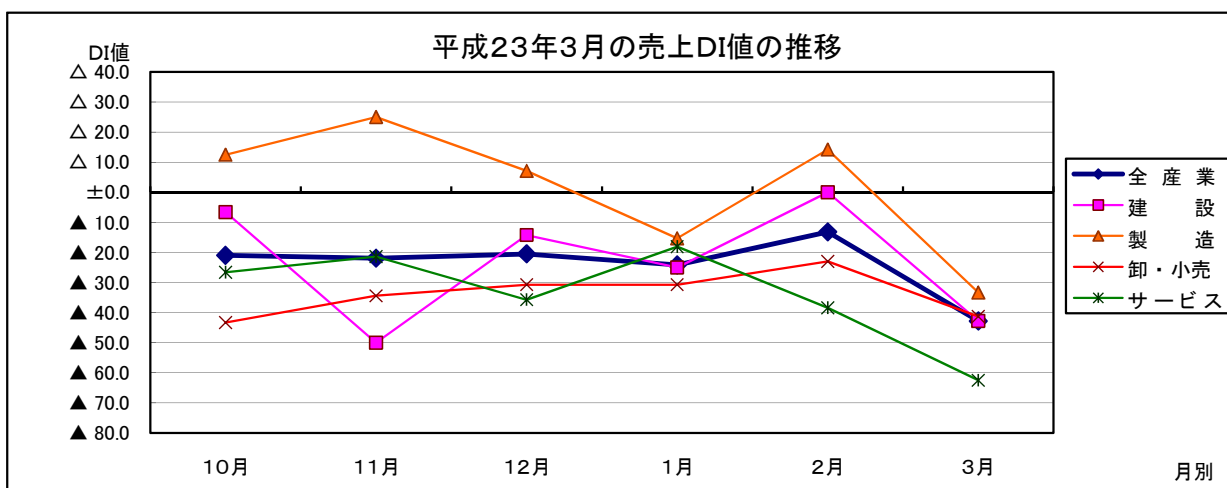
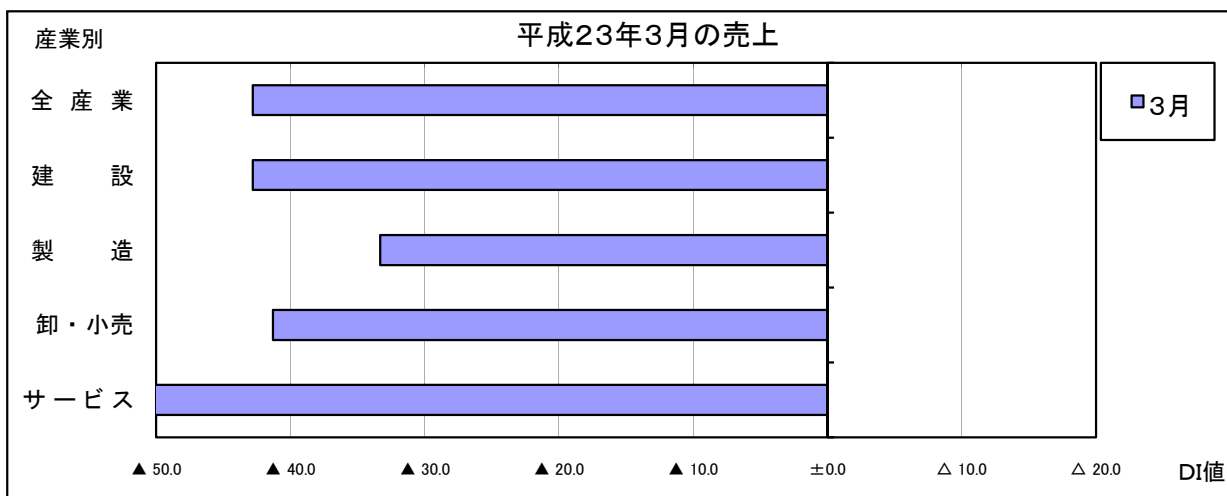
業種別では、前月水準と比べて、プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲33.3(同△14.2)であり、▲47.5ポイントと大幅に悪化した。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲42.8(同±0.0)、サービス業▲62.5(同▲38.4)、卸小売業▲41.3(同▲23.0)である。特に、建設業はマイナス幅が▲42.8ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲52.3(前月水準▲4.4)となり、マイナス幅が▲47.9ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、卸小売業▲58.6(同△3.8)であり、▲62.4ポイントと大幅悪化する見通しである。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲58.3(同±0.0)、サービス業▲50.0(同▲7.6)、建設業▲35.7(同▲20.0)である。特に、製造業はマイナス幅が▲58.3ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成23年3月の売上DI値(前年同月比)の推移

|      | 10月   | 11月   | 12月   | 平成23年<br>1月 | 2月    | 3月    | 先行き見通し<br>4月~6月(3月~5月) |
|------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|------------------------|
| 全産業  | ▲21.0 | ▲21.9 | ▲20.5 | ▲24.2       | ▲13.2 | ▲42.8 | ▲52.3(▲4.4)            |
| 建設   | ▲6.6  | ▲50.0 | ▲14.2 | ▲25.0       | ±0.0  | ▲42.8 | ▲35.7(▲20.0)           |
| 製造   | △12.5 | △25.0 | △7.1  | ▲15.3       | △14.2 | ▲33.3 | ▲58.3(±0.0)            |
| 卸・小売 | ▲43.3 | ▲34.4 | ▲30.7 | ▲30.7       | ▲23.0 | ▲41.3 | ▲58.6(△3.8)            |
| サービス | ▲26.6 | ▲21.4 | ▲35.7 | ▲18.1       | ▲38.4 | ▲62.5 | ▲50.0(▲7.6)            |



【平成23年3月の採算についての状況】

○ 3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲57.1(前月水準▲33.8)となり、マイナス幅が▲23.3ポイント拡大した。

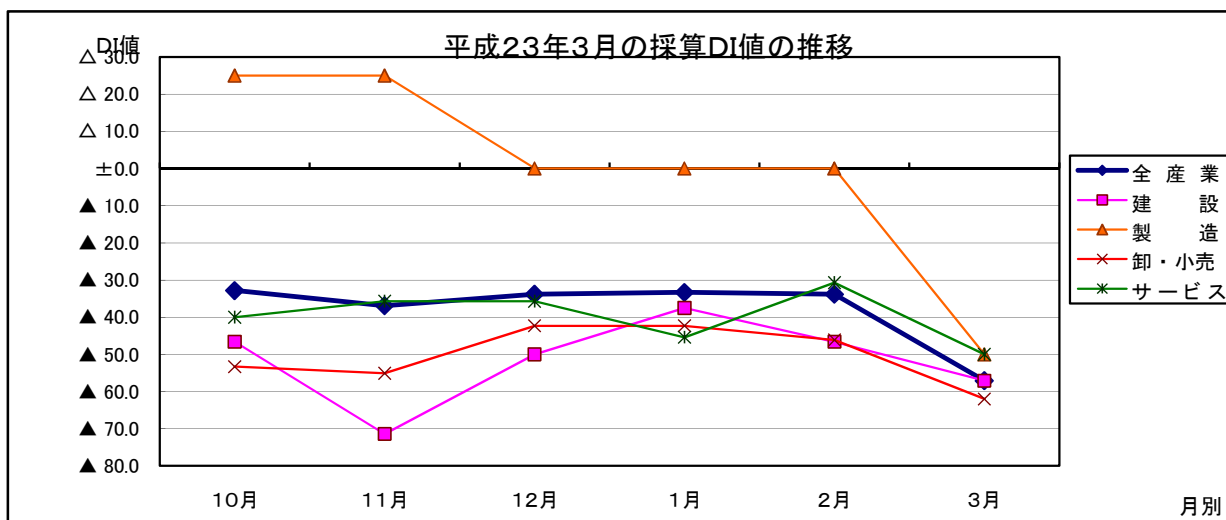
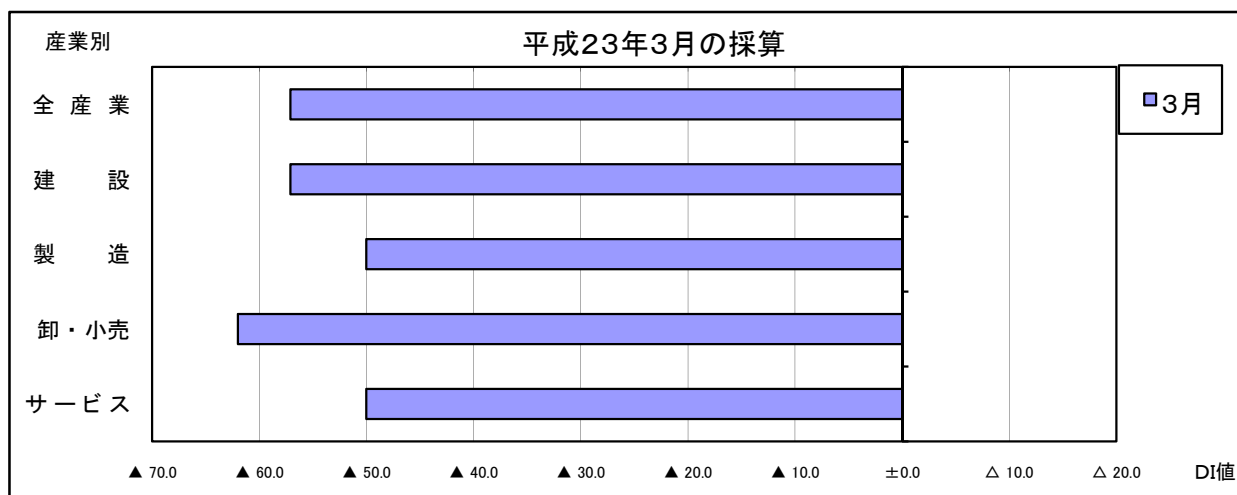
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲50.0(同±0.0)、サービス業▲50.0(同▲30.7)、卸小売業▲62.0(同▲46.1)、建設業▲57.1(同▲46.6)である。特に、製造業はマイナス幅が▲50.0ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲52.3(前月水準▲22.0)となり、マイナス幅が▲30.3ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲35.7(同▲40.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲66.6(同▲21.4)、サービス業▲50.0(同▲7.6)、卸小売業▲55.1(同▲19.2)である。特に、製造業はマイナス幅が▲45.2ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成23年3月の採算DI値(前年同月比)の推移

|      | 10月   | 11月   | 12月   | 平成23年<br>1月 | 2月    | 3月    | 先行き見通し<br>4月~6月(3月~5月) |
|------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|------------------------|
| 全産業  | ▲32.8 | ▲36.9 | ▲33.8 | ▲33.3       | ▲33.8 | ▲57.1 | ▲52.3(▲22.0)           |
| 建設   | ▲46.6 | ▲71.4 | ▲50.0 | ▲37.5       | ▲46.6 | ▲57.1 | ▲35.7(▲40.0)           |
| 製造   | △25.0 | △25.0 | ±0.0  | ±0.0        | ±0.0  | ▲50.0 | ▲66.6(▲21.4)           |
| 卸・小売 | ▲53.3 | ▲55.1 | ▲42.3 | ▲42.3       | ▲46.1 | ▲62.0 | ▲55.1(▲19.2)           |
| サービス | ▲40.0 | ▲35.7 | ▲35.7 | ▲45.4       | ▲30.7 | ▲50.0 | ▲50.0(▲7.6)            |



【平成23年3月の仕入単価についての状況】

○ 3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲34.9(前月水準▲29.4)となり、マイナス幅が▲5.5ポイント拡大した。

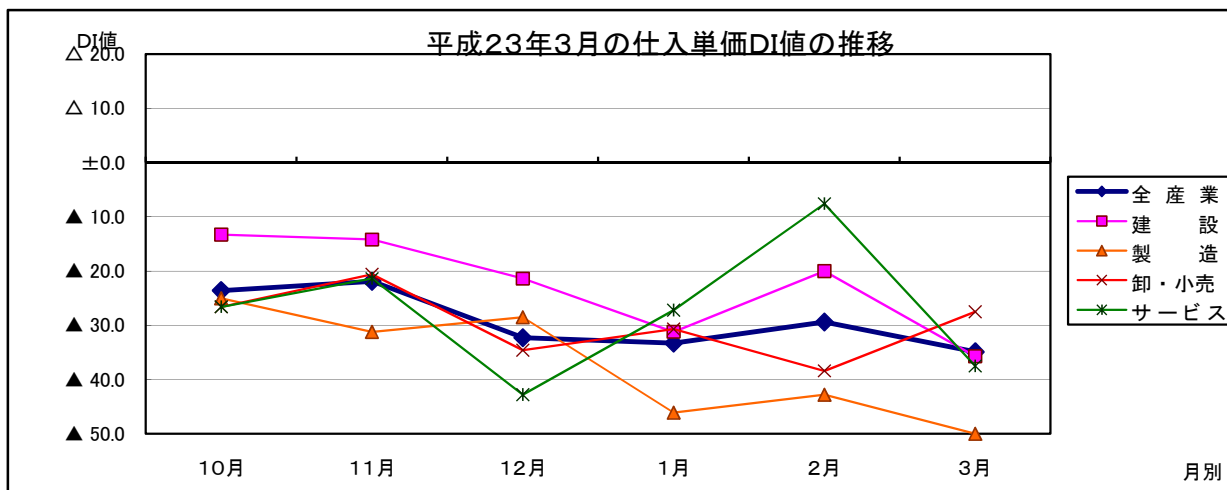
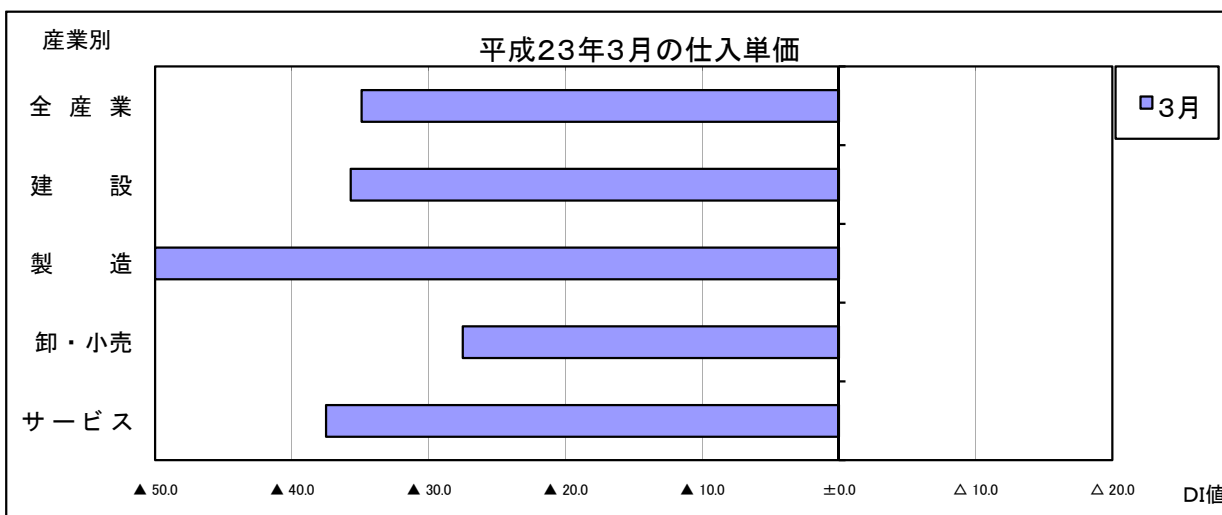
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲27.5(同▲38.4)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲37.5(同▲7.6)、建設業▲35.7(同▲20.0)、製造業▲50.0(同▲42.8)である。特に、サービス業はマイナス幅が▲29.9ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲42.8(前月水準▲35.2)となり、マイナス幅が▲7.6ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲27.5(同▲38.4)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲62.5(同▲23.0)、建設業▲42.8(同▲20.0)、製造業▲66.6(同▲57.1)である。特に、サービス業はマイナス幅が▲39.5ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成23年3月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

|      | 10月   | 11月   | 12月   | 平成23年<br>1月 | 2月    | 3月    | 先行き見通し<br>4月~6月(3月~5月) |
|------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|------------------------|
| 全産業  | ▲23.6 | ▲21.9 | ▲32.3 | ▲33.3       | ▲29.4 | ▲34.9 | ▲42.8(▲35.2)           |
| 建設   | ▲13.3 | ▲14.2 | ▲21.4 | ▲31.2       | ▲20.0 | ▲35.7 | ▲42.8(▲20.0)           |
| 製造   | ▲25.0 | ▲31.2 | ▲28.5 | ▲46.1       | ▲42.8 | ▲50.0 | ▲66.6(▲57.1)           |
| 卸・小売 | ▲26.6 | ▲20.6 | ▲34.6 | ▲30.7       | ▲38.4 | ▲27.5 | ▲27.5(▲38.4)           |
| サービス | ▲26.6 | ▲21.4 | ▲42.8 | ▲27.2       | ▲7.6  | ▲37.5 | ▲62.5(▲23.0)           |



【平成23年3月の従業員についての状況】

○ 3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲11.1(前月水準▲1.4)となり、マイナス幅が▲9.7ポイント拡大した。

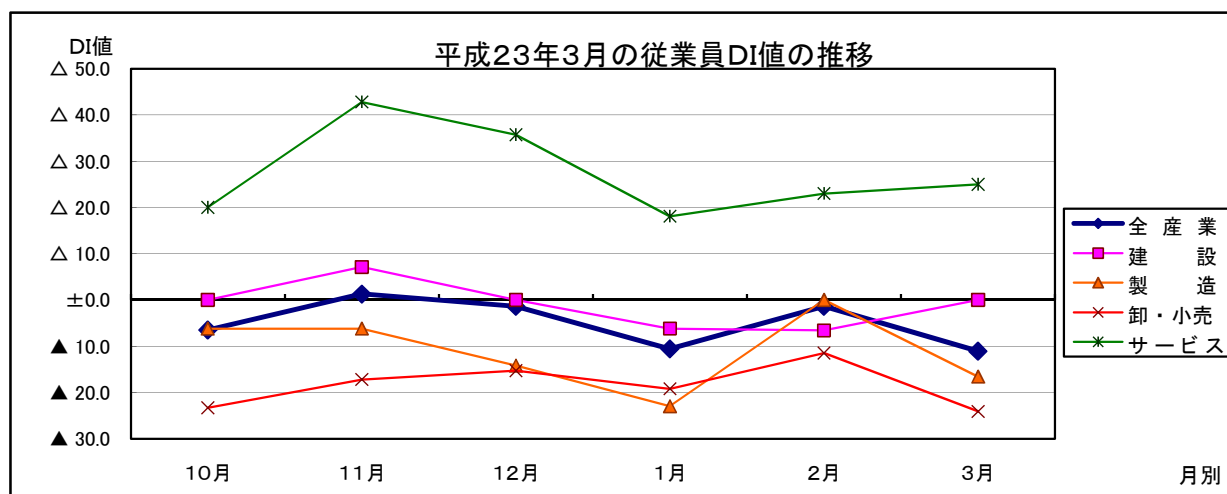
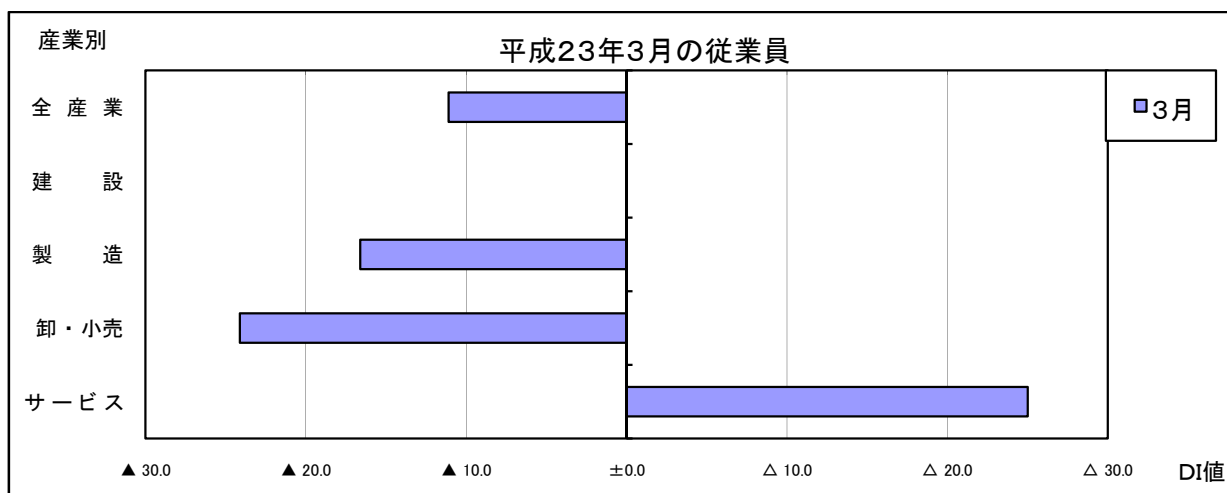
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、サービス業△25.0(同△23.0)である。マイナス幅が縮小した業種は、建設±0.0(同▲6.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲16.6(同±0.0)、卸小売業▲24.1(同▲11.5)である。

○ 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲12.6(前月水準▲5.8)となり、マイナス幅が▲6.8ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業△25.0(同△23.0)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲7.1(同▲13.3)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲16.6(同▲7.1)、卸小売業▲24.1(同▲15.3)である。

平成23年3月の従業員DI値(前年同月比)の推移

|      | 10月   | 11月   | 12月   | 平成23年<br>1月 | 2月    | 3月    | 先行き見通し<br>4月~6月(3月~5月) |
|------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|------------------------|
| 全産業  | ▲6.5  | △1.3  | ▲1.4  | ▲10.6       | ▲1.4  | ▲11.1 | ▲12.6(▲5.8)            |
| 建設   | ±0.0  | △7.1  | ±0.0  | ▲6.2        | ▲6.6  | ±0.0  | ▲7.1(▲13.3)            |
| 製造   | ▲6.2  | ▲6.2  | ▲14.2 | ▲23.0       | ±0.0  | ▲16.6 | ▲16.6(▲7.1)            |
| 卸・小売 | ▲23.3 | ▲17.2 | ▲15.3 | ▲19.2       | ▲11.5 | ▲24.1 | ▲24.1(▲15.3)           |
| サービス | △20.0 | △42.8 | △35.7 | △18.1       | △23.0 | △25.0 | △25.0(△23.0)           |





【平成23年3月の資金繰りについての状況】

○3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲36.5(前月水準▲26.4)となり、マイナス幅が▲10.1ポイント拡大した。

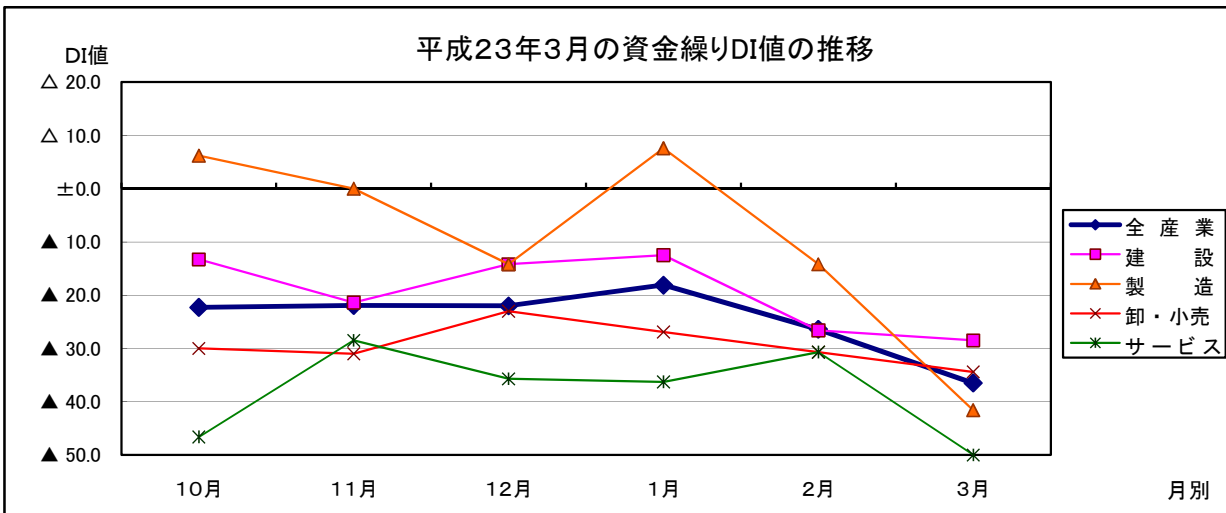
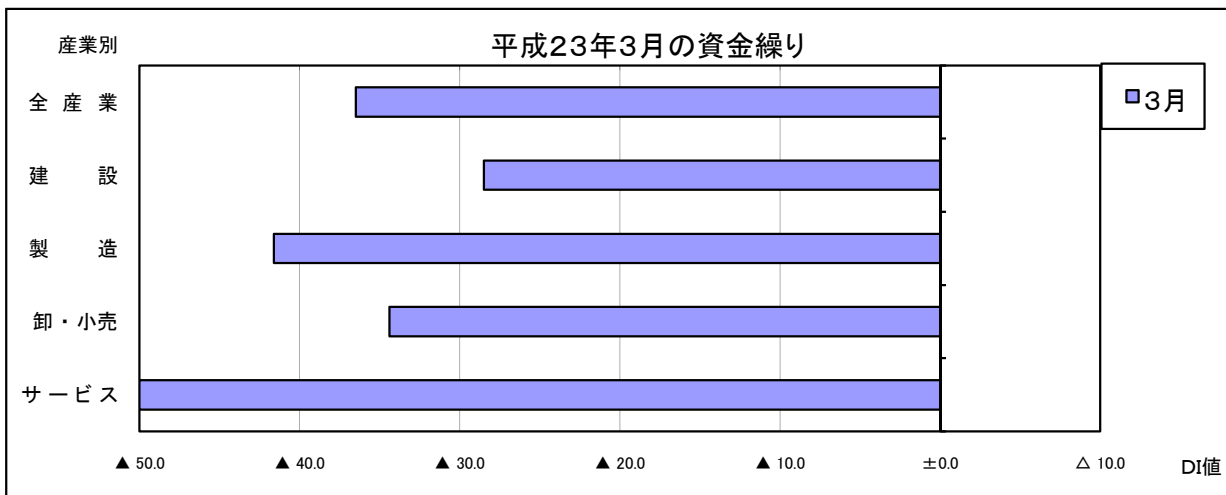
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲41.6(同▲14.2)、サービス業▲50.0(同▲30.7)、卸小売業▲34.4(同▲30.7)、建設業▲28.5(同▲26.6)である。特に、製造業はマイナス幅が▲27.4ポイントと大幅に拡大した。

○向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲38.0(前月水準▲20.5)となり、マイナス幅が▲17.5ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲21.4(同▲33.3)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲58.3(同▲7.1)、サービス業▲50.0(同▲15.3)、卸小売業▲34.4(同▲23.0)である。特に、製造業はマイナス幅が▲51.2ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成23年3月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

|      | 10月   | 11月   | 12月   | 平成23年<br>1月 | 2月    | 3月    | 先行き見通し<br>4月~6月(3月~5月) |
|------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|------------------------|
| 全産業  | ▲22.3 | ▲21.9 | ▲22.0 | ▲18.1       | ▲26.4 | ▲36.5 | ▲38.0(▲20.5)           |
| 建設   | ▲13.3 | ▲21.4 | ▲14.2 | ▲12.5       | ▲26.6 | ▲28.5 | ▲21.4(▲33.3)           |
| 製造   | △6.2  | ±0.0  | ▲14.2 | △7.6        | ▲14.2 | ▲41.6 | ▲58.3(▲7.1)            |
| 卸・小売 | ▲30.0 | ▲31.0 | ▲23.0 | ▲26.9       | ▲30.7 | ▲34.4 | ▲34.4(▲23.0)           |
| サービス | ▲46.6 | ▲28.5 | ▲35.7 | ▲36.3       | ▲30.7 | ▲50.0 | ▲50.0(▲15.3)           |



【DI値集計表】

|      | 売上高(受注・出荷) |        | 採算     |        | 仕入単価   |        | 従業員    |        |
|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|      | 前年比        | 先行き    | 前年比    | 先行き    | 前年比    | 先行き    | 前年比    | 先行き    |
| 全業種  | ▲ 42.8     | ▲ 52.3 | ▲ 57.1 | ▲ 52.3 | ▲ 34.9 | ▲ 42.8 | ▲ 11.1 | ▲ 12.6 |
| 建設   | ▲ 42.8     | ▲ 35.7 | ▲ 57.1 | ▲ 35.7 | ▲ 35.7 | ▲ 42.8 | ±0.0   | ▲ 7.1  |
| 製造   | ▲ 33.3     | ▲ 58.3 | ▲ 50.0 | ▲ 66.6 | ▲ 50.0 | ▲ 66.6 | ▲ 16.6 | ▲ 16.6 |
| 卸・小売 | ▲ 41.3     | ▲ 58.6 | ▲ 62.0 | ▲ 55.1 | ▲ 27.5 | ▲ 27.5 | ▲ 24.1 | ▲ 24.1 |
| サービス | ▲ 62.5     | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 37.5 | ▲ 62.5 | △ 25.0 | △ 25.0 |

|      | 業況     |        | 資金繰り   |        |
|------|--------|--------|--------|--------|
|      | 前年比    | 先行き    | 前年比    | 先行き    |
| 全業種  | ▲ 49.2 | ▲ 50.7 | ▲ 36.5 | ▲ 38.0 |
| 建設   | ▲ 42.8 | ▲ 35.7 | ▲ 28.5 | ▲ 21.4 |
| 製造   | ▲ 33.3 | ▲ 58.3 | ▲ 41.6 | ▲ 58.3 |
| 卸・小売 | ▲ 58.6 | ▲ 55.1 | ▲ 34.4 | ▲ 34.4 |
| サービス | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 |

【平成23年3月の業種別業界内トピックス】

| 産業別 | 概況  | キーワード  | 業種                     |
|-----|---|--|------------------------|
| 建設  | 震災以降修復工事が急増していますが、復旧のめどは立たず今後の見通しは不安です  | 東日本大震災<br>修復工事<br>先行き不安                      | 一般土木建築工事業              |
|     | 地震の影響がどのくらいあるかまだ先が見えない状況です  | 東日本大震災<br>先行き不透明                             | 一般土木建築工事業              |
|     | 東日本大震災による屋根瓦等の被害が多く、応急処置工事が大変でした。また、その後修理には、材料・瓦の不足で思うように進まない   | 東日本大震災<br>修復工事<br>材料不足                       | 一般土木建築工事業              |
|     | 材料生産業界が縮小動向の中、地震が起きたため補修の需要は一時的に増加するものの、新規はさらに減少するのではないかと予想され、先行きはますます厳しくなると思われる  | 修復工事<br>先行き不透明                               | 石工・れんが・タイル・ブロック工事業     |
|     | 東日本大震災での材料が品薄となり、仕入単価上昇すること。材料が手に入らず新築住宅の工事が進まず、それに付随する業種としては先が何も見えず4月以降の現場がどう動くのか心配です  | 東日本大震災<br>材料不足<br>仕入単価上昇<br>新規工事停滞<br>先行き不透明 | 管工事業(さく井を除く)           |
|     | 災害救援のため材料が不足。生産も間に合わず現場がストップしている。被災地優先となる今後の材料入手が心配   | 材料不足<br>工事停滞                                 | 電気工事業                  |
| 製造  | 東日本大震災、計画停電、原発事故などで資材不足、エネルギー不足、消費マインドの低下などにより、今後不透明な状態が続く見込み   | 東日本大震災<br>計画停電<br>材料不足<br>消費マインド低下<br>先行き不安  | 酒類製造業                  |
|     | 東日本大震災で得意先である製紙会社も被災。製紙業界全体としては需要をカバーするだけの生産力は充分にあると思われるが、原燃料事情、計画停電等で生産への影響が懸念される。当社としては震災前と比べ機械及び製造された製品に不具合が無いかが検証しながらの操業であり、計画停電による生産性ダウンもあり、先行きは不透明な状況である  | 東日本大震災<br>計画停電<br>生産ダウン<br>先行き不透明            | 織物業                    |
|     | 原材料の急騰が続き採算が悪化している  | 原材料高騰<br>採算悪化                                | ゴムベルト・ゴムホース・工業用ゴム製品製造業 |
|     | 今回の災害による今期業績等への影響については大きな影響はありませんが、その先の経済情勢全般が不透明なところもあり、注視したいと   | 東日本大震災<br>先行き不透明                             | ガラス・同製品製造業             |
|     | 政府に円高を少しでも是正するつもりが無い限り、景気も先行き個人消費も設備も借入難度もよくなるだろう。地震の影響による協調介入に結果が地震前より円高という結果では、本当に先行きが不透明である。被災地の復興にしても、経済全体が良い方向に進み始めないかぎり、その歩みはとも遅くなってしまうだろう。生産拠点としての東北地方が生産不可能と判断されれば、簡単に大手メーカーは海外にその拠点を移管するであろう。当然東北のメーカーに製品を納めている我々にも大きな打撃となることは疑いないところである | 円高<br>先行き不透明<br>被災地復興<br>東北地方生産拠点<br>海外発注    | その他の金属製品製造業            |
|     | 東日本大震災により、復興の作業量が大幅に増加するため、今後の作業量が売上にどう影響するのか   | 東日本大震災<br>修復工事<br>仕事量増加<br>売上の影響             | 一般産業用機械設備製造業           |
|     | 関係業者には震災における直接的被害がほとんどなく安心できたが東北及び近県においてガソリン不足が物流への影響を与え、苦慮している。また、ホストコンピュータ制御をおこなっている関係上計画停電の影響が大きく、変則勤務体系で対応した  | ガソリン不足<br>物流の影響<br>計画停電<br>変則勤務              | その他の機械・同部分品製造業         |
|     | 計画停電の影響により、生産稼働率の減少、加えて原材料の入荷量不足が発生している   | 計画停電<br>稼働率減少<br>材料不足                        | 特殊産業用機械製造業             |
|     | 東日本大震災により、多くの取引先が被害を受けた関係で、今後大幅な受注減の可能性があり、さらに業況が悪化する恐れがある  | 東日本大震災<br>受注減<br>業況悪化                        | 電子応用装置製造業              |

【平成23年3月の業種別業界内トピックス】

|     |   |  |                             |
|-----|---|--|-----------------------------|
|     | 今回の震災で物流が完全にマヒし、商品が入荷しなかったり出荷ができなかったり、売上にもかなり影響がでております。さらに加えて計画停電により営業出来なくなったことなど、売上減少の要因がかなりありました。   | 東日本大震災<br>物流の影響<br>入出荷困難<br>計画停電<br>売上減少               | 食料・飲料卸売業                    |
|     | 計画停電により本店サーバを落とすため、全国の事業所の業務を止める事になってしまう。その間業務がストップし全て残業となる為に、労務費が異常に上がってしまう。その逆に市場が冷え込むと予想されるが今年度は厳しい年になる  | 計画停電<br>情報機能停止<br>業務一時停止<br>労務費の上昇<br>市場の冷え込み<br>厳しい業況 | 他に分類されない卸売業                 |
|     | 地震後計画停電等の影響により、営業時間を短縮しており、そのため売上高は大幅に減少。義援金募金の呼び掛けに多くのお客様のご協力を得ている。  | 東日本大震災<br>計画停電<br>営業時間短縮<br>売上減少<br>義援金募金              | 百貨店                         |
|     | 地震の影響が大きく、食料品中心に買いためがあり売上は増加。しかし衣料品の購買意欲が半減している。水道水の問題も発生しミネラルウォーターの買いためになるのではないかと。計画停電もいつまで続くのかを考えると商売に大きく影響してくる   | 東日本大震災<br>買いため<br>衣料品不振<br>水道水問題<br>計画停電               | その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの) |
|     | 計画停電を計画的に行ってほしい。計画的な節電を企業そして個人が考えて行くのが大切である。サマータイム導入などはどうか  | 計画停電   | 各種食料品小売業                    |
|     | 3月初旬は前年並の取り扱いをしていたが地震の発生、福島原発事故により指定品目青果物の出荷制限自粛となり入荷減少。併せてそれ以外の品目でも風評被害の影響で出荷控え入荷減少し、価格も安値取引となっています。一日も早く収束をし、安心安全な野菜の提供をするため対策をしていきたい                                     | 東日本大震災<br>福島原発事故<br>青果物出荷制限<br>風評被害<br>価格低下<br>安心安全対策  | 食料・飲料卸売業                    |
|     | 震災後の買いため等の動きがあり、地区内では売上が前年対比で110%を超えている。仕入は大分良くなってきたが、まだ欠品や数量が足りなかったりしている。水・卵・納豆・牛乳・トイレトペーパーなどが納品が少ないか、全く入らない。  | 東日本大震災<br>買いため<br>売上増加<br>品不足<br>入荷困難                  | その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの) |
|     | 震災による直接被害はないが、買い控えや計画停電による影響が大きい  | 買い控え<br>計画停電   | 菓子・パン小売業                    |
| 卸小売 | 計画停電の影響で献立の変更や調理に支障がある。電車の不通で社員が欠勤となったり、食材確保も困難。夕方の客足も鈍い  | 計画停電<br>交通機関の影響<br>業務の支障<br>通勤困難<br>材料不足<br>購買意欲低下     | その他の飲食料品小売業                 |
|     | 震災で灯油とガソリンの仕入れができず入手方法等詮索、計画配送をこころがけたりと大変苦労をした。信頼されている消費者に迷惑はかけられずオイルショックを思い出した。仕入をして溜めておくことも出来ず地下タンクの増設は莫大な費用がかかる。業界としては上半期は先が見えない消費マインドの悪化を何か食い止める方策が必要。計画停電の方法見直しを早急にすべき | 東日本大震災<br>灯油ガソリン不足<br>先行き不透明                           | 燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)          |
|     | 消費マインドの悪化を何か食い止める方策が必要。計画停電の方法見直しを早急にすべき  | 消費マインド悪化<br>計画停電                                       | 書籍・文具小売業                    |
|     | 震災および計画停電のため、営業休止となり購買意欲の低下とともに売り上げの低下はどこまで続くか  | 東日本大震災<br>計画停電<br>営業停止<br>売上減少                         | 書籍・文具小売業                    |
|     | 東日本大震災の影響はこの先も長く続きそうである。特に計画停電の影響が非常に強く、今後もしばらく続くようであれば倒産も覚悟です  | 東日本大震災<br>計画停電   | 時計・眼鏡・光学機械小売業               |

【平成23年3月の業種別業界内トピックス】

|      |   |  |                             |
|------|---|--|-----------------------------|
|      | 震災後の計画停電やガソリン不足等で駅前も人がまばらです。お客様の動きは生活必需品に向かっているようで、未だに休業状態の大型店と一緒の当ビルも節電で早じまいのため先行きは難しそうです  | 東日本大震災<br>計画停電<br>ガソリン不足<br>生活必需品<br>先行き不透明                | 時計・眼鏡・光学機械小売業               |
|      | 震災の発生、計画停電の実施により、正常な営業ができないうえに、消費者の先行き不安がつのり、壊滅的な打撃を受けている   | 東日本大震災<br>計画停電<br>営業困難<br>先行き不安                            | その他の各種商品小売業（従業者が常時50人未満のもの） |
|      | 東日本大震災が発生し、臨時休業などを余儀なくされ、売上高は大きく落ち込んだ。震災後お客様の生活の利便性と電力エネルギー節減に配慮し、全館18時閉店としたものの、計画停電の影響を受け営業時間は変則的なものとなり、売上高は大きく減少した。今後も厳しい状況が続くと想定される  | 東日本大震災<br>臨時休業<br>売上大幅減少<br>計画停電<br>営業時間変則<br>厳しい業況        | 各種商品小売業                     |
|      | 震災の影響で消費者が家にいる事が多いせいか、本が良く売れている   | 東日本大震災<br>自粛ムード<br>書籍好調                                    | 書籍・文房具小売業                   |
|      | 未曾有の大災害のため、経済活動がストップしたまま。供給需要がストップして商売にならない   | 東日本大震災<br>経済活動停滞<br>事業の影響                                  | 塗料卸売業                       |
| サービス | 地震の影響と計画停電、電車運行中止、リネン会社の供給不足等があり、客室の販売できず。外国からのお客様や団体のキャンセル、4月以降の新入社員研修の中止、Jリーグ開催延期によるキャンセル等が多くなる。宴会では地震による開催の自粛により、主催者より取消が相次ぎ大きな損失となる。今後は食材の品薄や価格のアップなどが予測され更に運営が厳しくなりそうである。売り上げ落ち込みから見ると人件費率も高くなってしまう。 | 東日本大震災<br>計画停電<br>交通マヒ<br>キャンセル増加<br>自粛ムード<br>材料不足<br>売上減少 | ホテル                         |
|      | 計画停電により営業時間が変則となり来客者数が減り売上減少。福島県からの被災者多数来客あり。   | 計画停電<br>営業時間変則<br>売上減少                                     | 0                           |
|      | 震災後おちついて仕事ができない。今後の災害復旧がどこまでできるのか心配です。何も出来ない事に不甲斐なさも感じています  | 東日本大震災   | 獣医業                         |

## ◎計画停電

- ・ ホストコンピュータ制御をおこなっている関係上計画停電の影響が大きく、変則勤務体系で対応した  
その他の機械・同部分品製造業
  - ・ 今回の震災で物流が完全にマヒし、商品が入荷しなかったり出荷ができなかったり、売上にもかなり影響がでております。さらに加えて計画停電により営業出来なくなったことなど、売上減少の要因がかなりありました。  
食料・飲料卸売業
  - ・ 計画停電により本店サーバを落とすため、全国の事業所の業務を止める事になってしまう。その間業務がストップし全て残業となる為に、労務費が異常に上がってしまう。その逆に市場が冷え込むと予想されるが今年度は厳しい  
他に分類されない卸売業
  - ・ 地震後計画停電等の影響により、営業時間を短縮しており、そのため売上高は大幅に減少。義援金募金の呼び掛けに多くのお客様のご協力を得ている  
百貨店
  - ・ 震災および計画停電のため、営業休止となり購買意欲の低下とともに売り上げの低下はどこまで続くか  
書籍・文房具小売業
- 震災の発生、計画停電の実施により、正常な営業ができないうえに、消費者の先行き不安がつり、壊滅的な打撃を受けている  
その他の各種商品小売業
- ・ 東日本大震災が発生し、臨時休業などを余儀なくされ、売上高は大きく落ち込んだ。震災後お客様の生活の利便性と電力エネルギー節減に配慮し、全館18時閉店としたものの、計画停電の影響を受け営業時間は変則的なものとなり、売上高は大きく減少した。今後も厳しい状況が続くと想定される  
各種商品小売業

## ◎材料不足

- ・ 東日本大震災による屋根瓦等の被害が多く、応急処置工事が大変でした。また、その後修理には、材料・瓦の不足で思うように進まない  
一般土木建築工事業
- ・ 東日本大震災での材料が品薄となり、仕入単価上昇することのこと。材料が手に入らず新築住宅の工事が進まず、それに付随する業種としては先が何も見えず4月以降の現場がどう動くのか心配です  
管工事業
- ・ 災害救援のため材料が不足。生産も間に合わず現場がストップしている。被災地優先となる今後の材料入手が心配  
電気工事業
- ・ 計画停電の影響により、生産稼働率の減少、加えて原材料の入荷量不足が発生している  
特殊産業用機械製造業
- ・ 宴会では地震による開催の自粛により、主催者より取消が相次ぎ大きな損失となる。今後は食材の品薄や価格のアップなどが予測され更に運営が厳しくなりそうである。  
ホテル

## ◎先行き不透明


- ・ 地震の影響がどのくらいあるかまだ先が見えない状況です  
一般土木建築工事業
- ・ 東日本大震災で得意先である製紙会社も被災。製紙業界全体としては需要をカバーするだけの生産力はあると思われるが、原燃料事情、計画停電等で生産への影響が懸念される。当社としては震災前と比べ機械及び製造された製品に不具合が無いかが検証しながらの操業であり、計画停電による生産性ダウンもあり、先行きは不透明な状況である  
織物業
- ・ 震災で灯油とガソリンの仕入れができず入手方法等詮索、計画配送をこころがけたりと大変苦勞をした。信頼されている消費者に迷惑はかけられずオイルショックを思い出した。仕入をして溜めておくことも出来ず地下タンクの増設は莫大な費用がかかる。業界としては上半期は先が見えない。  
燃料小売業
- ・ 震災後の計画停電やガソリン不足等で駅前も人がまばらです。お客様の動きは生活必需品に向かっているようで、未だに休業状態の大型店と一緒の当ビルも節電で早じまいのため先行きは難しそうです  
時計・眼鏡・光学機械小売業











## 平成23年3月のCCI-LOBOとの比較











- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲49.2に対し、「CCI-LOBO」が▲45.9で、柏の方がマイナス幅が3.3ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業・サービス業で、建設業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は卸小売業で10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲42.8に対し、「CCI-LOBO」が▲38.4で、柏の方がマイナス幅が4.4ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・卸小売業。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業・サービス業でいずれも10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲57.1に対し、「CCI-LOBO」が▲42.9で、柏のほうがマイナス幅が14.2ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は建設業・製造業・卸小売業でいずれも10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲34.9に対し、「CCI-LOBO」が▲36.8で、柏の方がマイナス幅が1.9ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・卸小売業。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業・サービス業。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲11.1に対し、「CCI-LOBO」が▲11.9で、柏の方がマイナス幅が0.8ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・サービス業で、いずれも10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業・卸小売業で、卸小売業は10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲36.5に対し、「CCI-LOBO」が▲29.2で、柏の方がマイナス幅が7.3ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業。「柏の景気」の方が悪い業種は製造業・卸小売業・サービス業で、製造業・サービス業は10ポイント以上悪い。











# 平成23年3月の柏の景気天気図











柏の景気情報と全国CCI LOBOとの比較











|       |   |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|---|
| 景気天気図 |  |  |  |  |  |
|       | 特に好調<br>DI 50   | 好調<br>50>DI 25  | まあまあ<br>25>DI 0   | 不振<br>0>DI 25   | 極めて不振<br>25>DI  |











| 業況DI     | 全産業   | 建設  | 製造  | 卸小売   | サービス  |
|----------|---|---|---|---|---|
| 柏の景気     | <br>49.2 | <br>42.8 | <br>33.3 | <br>58.6 | <br>50.0 |
| CCI LOBO | <br>45.9 | <br>59.5 | <br>35.7 | <br>46.0 | <br>51.5 |


| 売上DI     | 全産業   | 建設  | 製造  | 卸小売   | サービス  |
|----------|---|---|---|---|---|
| 柏の景気     | <br>42.8 | <br>42.8 | <br>33.3 | <br>41.3 | <br>62.5 |
| CCI LOBO | <br>38.4 | <br>51.0 | <br>22.7 | <br>42.4 | <br>47.3 |

| 採算DI     | 全産業   | 建設  | 製造  | 卸小売   | サービス  |
|----------|---|---|---|---|---|
| 柏の景気     | <br>57.1  | <br>57.1  | <br>50.0  | <br>62.0  | <br>50.0  |
| CCI LOBO | <br>42.9 | <br>56.5 | <br>36.3 | <br>39.5 | <br>51.4 |

| 仕入単価DI   | 全産業   | 建設  | 製造  | 卸小売   | サービス  |
|----------|---|---|---|---|---|
| 柏の景気     | <br>34.9 | <br>35.7 | <br>50.0 | <br>27.5 | <br>37.5 |
| CCI LOBO | <br>36.8 | <br>45.3 | <br>42.3 | <br>28.5 | <br>35.5 |

| 従業員DI    | 全産業   | 建設  | 製造  | 卸小売   | サービス  |
|----------|---|---|---|---|---|
| 柏の景気     | <br>11.1 | <br>±0.0 | <br>16.6 | <br>24.1 | <br>25.0 |
| CCI LOBO | <br>11.9 | <br>23.9 | <br>11.6 | <br>6.5  | <br>10.3 |

| 資金繰りDI   | 全産業   | 建設  | 製造  | 卸小売   | サービス  |
|----------|---|---|---|---|---|
| 柏の景気     | <br>36.5 | <br>28.5 | <br>41.6 | <br>34.4 | <br>50.0 |
| CCI LOBO | <br>29.2 | <br>37.7 | <br>24.5 | <br>28.6 | <br>33.9 |

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目



# 柏の景気情報

## (3月の調査結果のポイント)

調査期間：平成23年3月22日～25日

調査対象：柏市内107事業所及び組合にヒアリング、回答数63

柏の景気情報・産業別業況D I

|     | 全産業   | 建設    | 製造    | 卸・小売  | サービス  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 10月 | ▲40.7 | ▲40.0 | 0.0   | ▲56.6 | ▲53.3 |
| 11月 | ▲32.8 | ▲50.0 | 12.5  | ▲51.7 | ▲28.5 |
| 12月 | ▲39.7 | ▲28.5 | ▲14.2 | ▲53.8 | ▲50.0 |
| 1月  | ▲28.7 | ▲12.5 | ▲30.7 | ▲38.4 | ▲27.2 |
| 2月  | ▲36.7 | ▲20.0 | ▲28.5 | ▲50.0 | ▲38.4 |
| 3月  | ▲49.2 | ▲42.8 | ▲33.3 | ▲58.6 | ▲50.0 |
| 見通し | ▲50.7 | ▲35.7 | ▲58.3 | ▲55.1 | ▲50.0 |

「見通し」は今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しD I

### 柏市の業況

#### 業況D Iは大幅に悪化 東日本震災の影響大きく

3月の全産業合計のD I値(前年同月比ベース、以下同じ)は、49.2(前月水準 36.7)となり、マイナス幅が12.5ポイント拡大した。業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業 42.8(同 20.0)、サービス業 50.0(同 38.4)、卸小売業 58.6(同 50.0)、製造業 33.3(同 28.5)である。特に、建設業はマイナス幅が22.8ポイントと大幅に拡大した。

【建設業】からは、「震災以降修復工事が急増していますが、復旧の作業量が大幅に増加するた

旧のめどは立たず今後の見通しは不安です」(一般土木建築事業)、「材料生産業界が縮小動向の中、地震が起きたため補修の需要は一時的に増加するものの、新規はさらに減少するのではないかと予想され、先行きはますます厳しくなると思われる」(石工・れんが・タイル・ブロック工業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「東日本大震災、計画停電、原発事故などで資材不足、エネルギー不足、消費マインドの低下などにより、今後不透明な状態が続く見込み」(酒類製造業)、「東日本大震災により、復旧の作業量が大幅に増加するた

め、今後の作業量が売上にどう影響するのか」(一般産業用機械設備製造業)、「東日本大震災により、多くの取引先が被害を受けた関係で、今後大幅な受注減の可能性があり、さらに業況が悪化する恐れがある」(電子応用装置製造業)などのコメントがあった。

【卸小売業】からは、「地震の影響が大きく、食料品中心に買いだめがあり売上は増加。しかし衣料品の購買意欲が半減している。水道水の問題も発生しミネラルウォーターの買いだめになるのではないかと。計画停電もいつまで続くのかを考えると商売に大きく影響してくる」(その他の各種卸小売業)、「3月初旬は前年並の取り扱いをしていたが地震の発生、福島原発事故により指定品目書果物の出荷制限自粛となり入荷減少。併せてそれ以外の品目でも風評被害の影響で出荷控え入荷減少し、価格も安値取引となっています」(食

料・飲料卸売業)、「未曽有の大災害のため、経済活動がストップしたまま、供給需要がストップして商売にならない」(塗料卸売業)などのコメントが寄せられた。【サービス業】からは、「計画停電により営業時間が変則となり来客者数が減り売上減少。福島県からの被災者多数来客あり」(公衆浴場業)、「震災後おちついて仕事ができない。今後の災害復旧がどこまでできるのか心配です。何も出来ない事に不甲斐なさも感じています」(獣医療業)などの声が寄せられた。

### 3月の景気キーワード

#### 計画停電

各業種から、「ホストコンピュータ制御をおこなっている関係上計画停電の影響が大きく、変則勤務体系で対応した」(その他の機械・同部品製造業)、「今回の震災で物流が完全にマヒし、商品が入荷しなかったり出荷ができなかったり、売上にもかなり影響がでております。さらに加えて計画停電により営業出来なくなりましたことなど、売上減少の要因がかなりありました」(食料・飲料卸売業)、「計画停電により本店サーバを落とすため、全国の事業所の業務を止める事になってしまつた。その間業務がストップし全て残業となる為、労務費が異常に上がつてしまつた」(他に分類されない卸売業)、「地震後計画停電等の影響により、営業時間を短縮しており、そのため売上高は大幅に減少」(百貨店)、「震災および計画停電のため、営業休止となり購買意欲

の低下とともに売り上げの低下はどこまで続くか」(書籍・文房具小売業)、「震災の発生、計画停電の実施により、正常な営業ができないうえに、消費者の先行き不安がつのり、壊滅的な打撃を受けている」(その他の各種商品小売業)、「東日本大震災が発生し、臨時休業などを余儀なくされ、売上高は大きく落ち込んだ。震災後お客様の生活の利便性と電力エネルギー削減に配慮し、全館18時間閉店としたものの、計画停電の影響を受けた。営業時間は変則的なものとなり、売上高は大きく減少した」(各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

#### 材料不足

各業種から、「東日本大震災による屋根瓦等の被害が多く、応急処置工事が大変でした。また、その後修理には、材料・瓦の不足で思うように進まない」(一般土木建築事業)、「東日本大震災での材料が品薄となり、仕入単価上昇すること。材料が手に入らず新築住宅の工事が進まず、それに付随する業種としては先が何も見えず4月以降の現場がどう動くのか心配です」(管工事業)、「災害救援のため材料が不足。生産も間に合わず現場がストップしている。被災地優先となる今後の材料入手が心配」(電気工事業)、「計画停電の影響により、生産稼働率の減少、加えて原材料の入荷量不足が発生している」(特殊産業用機械製造業)、「今後は食

材の品薄や価格のアップなどが

#### 先行き不透明

各業種から、「地震の影響がどのくらいあるかまだ先が見えない状況です」(一般土木建築事業)、「原材料事情、計画停電等が生産への影響が懸念される。先行きは不透明な状況である」(織物業)、「震災で灯油とガソリンの仕入れができず人手方法等詰索、計画配送を心がけたりと大変苦労を仕入をして溜めておくことも出来ず地下タンクの増設は莫大な費用がかかる。業界として上半期は先が見えない」(燃料小売業)、「震災後の計画停電やガソリン不足等で駅前も人がまばらです。お客様の動きは生活必需品に向かっているようで、未だに休業状態の大型店と一緒の当ヒルも節電で早終いのため先行きは難しそうです」(時計・眼鏡・光学機械小売業)などの声が寄せられた。

### CCI LOBBYとの比較

全産業合計では、「柏の景気」が49.2に対し、「CCI LOBBY」が45.9で、柏の方がマイナス幅が3.3ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は建設業・製造業・サービス業で、建設業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は卸小売業で10ポイント以上悪い。

# CCI - LOBO

## 商工会議所早期景気観測 (3月速報)

調査期間：平成23年3月16日～23日

調査対象：全国の408商工会議所が2688業種組合等にヒアリング調査を実施

### 全国の業況

**業況DIは、東北関東大震災の影響で大幅に悪化**

3月の全産業合計の業況DIは、調査時点が、3月1日に発生した東北関東大震災の直後だったことから、45.9(前月比 5.8ポイント)と、3年2カ月ぶりの大幅な悪化となった。先行きについては、先行き見通しDIは50.7と、今月から4.8ポイント悪化し、2010年2月以来のマインス50台が見込まれる厳しい状況。震災による部品の供給不足や停電に伴う生産活動の停滞に加え、原材料価格のさらなる上昇、消費・売上の低迷などを訴える声が多い。

【建設業】「震災の影響で建築資材が届かないため、工事の完成が遅れるなど経営に悪影響が出ている」(建築工事業)、「来年度予算が執行されるか不透明なため、向こう3カ月は受注獲得を期待できない」(一般土木建築工事業)、「公共工事が減少する中、地方に進出する大手建設業者との競争が激しく、受注を確保できない地元の中心

小建設業者の経営は限界に達している」(一般土木建築工事業)

【製造業】「地震により取引先からの部品供給が止まり、操業できない」(自動車・同附属品製造業)、「自社で加工・納品していた製品を、取引先が海外生産に切り替えたため、売上が大幅に減少」(産業用電気機械器具製造業)、「中東危機による原油価格の高騰に加え、砂糖など原材料価格も上昇し、収益が圧迫されている」(パン・菓子製造業)

【卸売業】「震災の発生に伴い、消費者が生活必需品を買い込み、売上が増加」(各種商品卸売業)、「消費者の低価格志向により売上が低迷する中、震災の影響で原材料の仕入価格が上昇している。また、資金繰りも厳しい状況」(農畜産・水産物卸売業)、「食用油の仕入価格が上昇しているうえ、砂糖も今後値上がりが見込まれることから、採算が取れない」(農畜産・水産物卸売業)

【小売業】「震災の影響で消費者は食料品など生活必需品を中心に購入しており、主

力商品である衣料品、高額品の売上が極端に落ち込んでいる」(百貨店)、「震災が発生した事情に鑑み、イベントを全て自粛したため、各店とも売上が悪化」(商店街)、「消費者の低価格志向が一層強まっていることから、仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁できず、利幅を抑えて販売せざるを得ない状況」(その他の小売業)

【サービス業】「春先にかけて上向きつつあった宿泊の予約は、震災の影響でキャンセルが相次ぎ、経営は深刻な状況」(旅館)、「必要最低限の従業員で営業しているため、人員を増やしたいが、景気が回復し売上が上がらない限り、新規採用は難しい」(食堂、レストラン)、「卒業、入学シーズンで本来なら忙しい時期だが、来客数は低迷」(理容)

### 3月のキーワード

3月分はキーワード集計及びコメント掲載がございません

全国・産業別業況DIの推移

|     | 全産業   | 建設    | 製造    | 卸売    | 小売    | サービス  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 10月 | ▲40.5 | ▲54.4 | ▲23.3 | ▲34.6 | ▲45.6 | ▲46.7 |
| 11月 | ▲40.6 | ▲51.5 | ▲27.7 | ▲41.3 | ▲41.8 | ▲45.3 |
| 12月 | ▲38.1 | ▲50.7 | ▲27.1 | ▲26.3 | ▲39.1 | ▲45.0 |
| 1月  | ▲38.7 | ▲48.7 | ▲26.8 | ▲36.4 | ▲37.4 | ▲46.8 |
| 2月  | ▲40.1 | ▲50.9 | ▲29.8 | ▲33.8 | ▲38.7 | ▲48.0 |
| 3月  | ▲45.9 | ▲59.5 | ▲35.7 | ▲37.1 | ▲46.0 | ▲51.5 |
| 見通し | ▲50.7 | ▲60.3 | ▲49.7 | ▲37.4 | ▲49.0 | ▲52.6 |

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI